2022 年度入社式　社長訓示

【樋口社長】

１．はじめに

２．東北電力グループの現状

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

＜失敗を恐れずに 挑戦してほしい＞

＜地域・社会から信頼される社員を目指してほしい＞

４．むすび

2022 年 4 月 1 日（金）13：00～

本店大会議室

１．はじめに（祝辞）

新しく東北電力および東北電力ネットワークで働く仲間となった２５６名の皆さん，入社，誠におめでとうございます。心より歓迎いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大や，ウクライナへのロシア侵攻，さらに，３月１６日に発生した福島県沖を震源とする地震など，記憶に残る入社の年になりました。

このような中，皆さんへ私の想いを直接届けたい，そして，同期入社の仲間との絆を深めてほしいと考え，感染防止対策を徹底したうえで，全員参加の形式で入社式を開催することにしました。

本日は，私と東北電力ネットワークの坂本社長から皆さんにメッセージをお伝えします。

２．東北電力グループの現状について

はじめに，東北電力グループの現状についてお話いたします。

東北電力は１９５１年に誕生し，戦後の混乱のなかで，私たちの先輩方は，あらゆる知恵を結集し，弛まぬ努力を重ね，電気を「作る」「送る」「届ける」ことに奔走しながら，安定供給に努めてきました。そして，それは，東北電力グループの使命として，今も私たちに引き継がれています。

同時に，東北電力グループは「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という考えのもと，東北と新潟が繁栄し，発展していくことを何よりも願いながら，電気事業を中心に様々な施策を展開してきました。

まさに，東北電力グループの歴史は，地域とともに歩んできた歴史でもあります。

一方，電力小売りの競争激化や新型コロナウイルス感染症の拡大，不安定な国際情勢を背景とした燃料価格高騰，そして，温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする，いわゆるカーボンニュートラルという新たな潮流など，私たちを取り巻く事業環境の変化は想定以上に速いスピードで進んでいます。

こうした事業環境の大きな変化には，必ずビジネスチャンスがあります。このため，私たちは，東北電力グループ中長期ビジョン「よりそうｎｅｘｔ」のもと，従来の電力供給事業の構造改革を推し進めながら，ビジネスフィールドを広げ，地域に住む方々がより快適・安全・安心に暮らすことができるスマート社会の実現に挑戦しているところです。

電力供給事業では，太陽光や風力などの再生可能エネルギーの積極的な開発と導入を進めるとともに，火力発電の高効率化と脱炭素化に取り組んでいます。

また，原子力発電所の再稼働に向けては，昨年，国から女川原子力発電所２号機の「工事計画」について認可をいただき，２０２３年１１月の工事完了と，その先の再稼働に向けて，全社一丸となって進めていきます。

スマート社会の実現に向けては，事業の中核的な存在となる東北電力フロンティア株式会社を設立し，新たなバンドルサービスの提供など，本格的な事業展開に乗り出しています。

このように，様々な事業で着々と成果を積み上げており，今後，取り組みをさらに加速させていきたいと考えています。

３．皆さんにお願いしたいこと

次に，今，お話したことを踏まえ，皆さんにお願いしたいことについてお話いたします。

皆さんは，どのような夢を持って入社されたでしょうか。それは，変革期にある東北電力グループを選び，電気事業の枠にとらわれず，新しい事業にチャレンジしたいという夢，電力の安定供給を通じ，地域社会のために貢献したいという夢など，すばらしいものだろうと思います。

そうした夢を，皆さん一人ひとりが実現することで，東北電力グループのさらなる成長につながっていくものと考えています。

今の気持ちを忘れることなく，夢や成し遂げたい目標を常に持ち，明るく，元気に，前向きに，日々の業務に取り組んでほしいと思います。

その上で，２点お話します。

＜失敗を恐れずに 挑戦してほしい＞

１点目は，「失敗を恐れずに 挑戦してほしい」ということです。

これからも東北電力グループが地域とともに発展していくためには，電力の安定供給という使命をしっかりと果たしながら，スピード感を持って，お客さまのニーズに沿った様々なサービスや新たな価値を提供していかなければなりません。

そのためには，新たな発想で，挑戦し続けることが必要です。皆さんにとっては，仕事を通して見るもの，聞くもの，すべてが初めてのことになりますが，仕事を進めていく中で，疑問に感じたこと，もっとこうすれば良くなると気づいたことは，ぜひ，臆せずに職場の上司や先輩に話してください。

皆さんの新しい視点や感覚が，会社・職場によい刺激を与え，ひいては，新たなビジネスの創出にもつながってくるのではないかと期待しています。

また，挑戦には失敗が伴いますが，「失敗は成功のもと」と言います。成功は挑戦と失敗の中から，解決に向けて試行錯誤した先にこそあります。失敗を恐れて挑戦しない，何もしなければ成長はありません。

そして，挑戦するなかで，ぜひ心がけてほしいことがあります。常に『どうしたらできるか？』という前向きな視点で考えてください。そのことによって解決の糸口が見いだされ，成果が生まれるはずです。

＜地域社会から信頼される社員を目指してほしい＞

２点目は，「地域・社会の皆さまから信頼される社員を目指してほしい」ということです。

東北電力グループは，長年この地に根を張り，地域とともに歩んできました。私なりに東北電力グループの強みを解釈すると，地域の皆さまから信頼をいただき，「困ったときに相談され，頼りにされる存在」であり続けるということだと思います。

地域の皆さまから信頼をいただくために，皆さんにはまず，これから配属となる地域の一番の理解者になってほしいと思います。その地域のことをよく知って，好きになってください。

今はコロナ禍でなかなか難しい状況ですが，日頃から足を運び，地域の様々な人に出会い，コミュニケーションをとり，つながりを深め，早く地域に溶け込むことで，地域が求めるもの，自分たちだからこそできることが見えてきます。その積み重ねが，地域からの信頼構築につながります。まさに，東北電力グループのコーポレートスローガン「より、そう、ちから。」です。

４．むすび

むすびになりますが，東北電力グループを取り巻く環境は，これからも目まぐるしく変わっていくことでしょう。こうした時代において，東北電力グループの将来を支えるのは皆さん一人ひとりです。

今年のモットーは「さらなる飛躍へ 挑戦！挑戦！挑戦！」です。これから，ともに東北電力グループの未来を築いていきましょう。

皆さんのフレッシュな発想と行動力で，今後，大いに活躍されることを期待して，私からのメッセージといたします。

以　上